

専門用語は一般読者を遠ざける

◆専門用語の使用は、その説明があっても、一般読者を遠ざけることになる

2020年1月に発表された米国のオハイオ州立大学の研究によれば、科学分野では多用されるが一般には馴染みのない専門用語を使うと、その記事は一般読者に敬遠される。さまざまな年齢、性別、人種を含む650人の被験者に、3つのトピックス（自動運転、手術ロボット、3Dバイオプリンター）に関して、専門用語を使った記事、専門用語を使わない記事、さらに、専門用語を使った記事の中で、その専門用語の説明を加えたもの、加えなかったものを読んでもらい、その感想を解析した結果である。

専門用語が科学的な内容の理解を妨げるということは、予想されたものではあるが、それを実証的に示した結果である。また、専門用語の解説を加えてみても効果がないことも明らかになった。さらに、専門用語の使用によって、科学一般への興味を低下させるなどの負の効果があることも示された。

専門用語が一般読者を遠ざけることは、科学の分野に限った話ではない。この研究グループは、以前に、政治学の記事に関する同様の研究を行っており、やはり、政治学の分野で多用されるが一般には馴染みのない専門用語を使った記事は、一般読者に敬遠される傾向にあることを報告している。

◆科学者が書いた記事だからといって、一般読者が敬遠するわけではない

一方、20年1月に発表されたイスラエル工科大学などの研究によれば、科学者が書いた記事だからといって、ニュース記者が書いた記事と比べて、一般読者から敬遠されるわけではない。2年半にわたり、イスラエルの2つの代表的なニュースサイトに、科学者とニュース記者が書いた一対の科学関連記事150件を掲載して、それらに対する閲覧履歴を比較したところ、優位な差はみられなかった。

しかし、科学者とはいっても、この記事を書いたのはイスラエル工科大学で一般向けの科学記事を書くトレーニングを受けた科学者である。専門用語を避けるばかりでなく、専門家ではない読者のことも考えて書くことで、一般読者が親しみを覚える記事の作成を心掛けたいものである。

【戸潤一孔】